

【山岳部】

登山の実施結果について（令和6年10月17日～令和7年2月12日実施分）

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
1	宇都宮高等学校	令和6年度 岩山安全 登山講習	岩山 （鹿沼市）	令和6年 12月21日	1日 （日帰り）	6名	2名 湯澤真一 鶴見勝司	学校(8:00)→一鹿沼駅(8:25) …鹿沼西中入口(9:00)…日吉神社登山口(9:30)…第一ベンチまでの岩の斜面で講習(9:45～11:20)…一番岩(山頂)…山頂で大休止(12:20)…下山口(13:45)…鹿沼駅(15:00)…鶴田駅(15:55)…宇高(16:05)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・岩場に貯まっている乾燥した落葉は滑りやすいので、足の置き場に注意させるなど慎重に歩行させた。 ・岩場が多い山域のため、行動時はヘルメットを常時着用させた。 ・簡易チェストハーネスの結び方、ダブルフィッシャーマンズノットの結び方が正しいか確認して講習を開始した。 ・8の字結びやクローブヒッチについても確認し、支点通過時の注意やギアの回収の仕方を体験した。 ・自己確保の重要性や基本的なロープシステムについて、講師に丁寧に説明してもらった。 ・気温が低く、休憩時は肌寒くなったため、着衣の調整に留意させた。 ・岩場の通過時は三点支持を徹底させるとともに、私語を控え慎重に行動するように注意した。	特になし	特になし	特になし	問題なし
2	宇都宮白楊高等学校	秋山登山	鳴虫山 （日光市）	令和6年 11月9日	1日 （日帰り）	7名	2名 金鋪良昭 佐久間利美 (部活動指導員)	JR宇都宮駅(6:30)→JR日光駅(7:12)→鳴虫山登山口(8:00)→神ノ主山(8:45)→鳴虫山山頂(9:50着 10:20発) …独標(11:10)→鬱満ヶ淵(12:00)→JR日光駅(13:20)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・部活動指導員とこまめに協議をし、前日の天気予報で実施時間帯に問題がなさそうと判断し、実施した。 ・当日朝は栃木県内の気温は下がり、寒い朝だったが、日中の日光市は秋晴れに恵まれた。登山道は濡れてはいたが、歩行できる状況であり、日中の気温も上がり比較的快速な登山を実施することができた。 ・また、登山が初経験の部員もいたため、細かな指導を徹底した。また、ヒルが多い山であることは佐久間氏から聞いていたので、ヒル除けスプレーを靴に噴霧して登山に臨んだ。	・山頂から下山し始めると勾配の急な坂が多く、足場も落葉している箇所に加えて岩場や木の根が蔓延る状態で滑りやすくなっていた。 ・途中ロープが張ってある箇所もあり、ロープを使いながら下山したが、合峰から独標を通過するまでに3名、4名の生徒が尻もちをついたり、足を滑らせて転びそうになった場面があった。 ・全員手袋もしていたので特に怪我等はしなかったが、ズボンの汚れが目立った。	・鳴虫山の山頂から下山ルート of 勾配の急な差や足場の悪さは把握していたが、予想しているよりも勾配が急であったのと生徒の下山ベースが早く、結果的に足を滑らせたり、尻もちをつく生徒が多く出てしまった。	・もう少し落ち着いて下山するように生徒に指示すること、上り下りのペースを一定にすることで体力消耗も防げると感じたので事前にもっと生徒と打合せが必要だった。 ・また、気温の低さとヒル対策の効果があつてか今回の参加者全員ヒルによる被害は特にみられなかった。	問題なし
3	栃木女子高等学校	令和6年度 登り初め登山	太平山、 晃石山 （栃木市）	令和7年 1月4日	1日 （日帰り）	10名	3名 高橋秀明 池間明德 増山明美	栃女(8:00)→あじさい坂下(8:40)→謙信平(9:10)→ぐみの木峠(9:30)→晃石神社(10:15)→桧峠(10:45)→清水寺(11:55)→晃石山頂(12:45)→ぐみの木峠(13:25)→太平山神社(14:00)→あじさい坂(14:30)→栃女(15:00)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ2	第1号	晴れ 0cm	・レイヤリングによる体温調整をこまめに行わせることで、汗冷えしないよう指導を徹底した。 ・年末、年始後すぐの登山であったため、体力及び体調を考え、途中のコースをカットする可能性があることを事前に周知した。→15:00頃に栃女に到着するよう、大中寺へ向かわず太平山神社へ向かった。	特になし	特になし	特になし	問題なし